

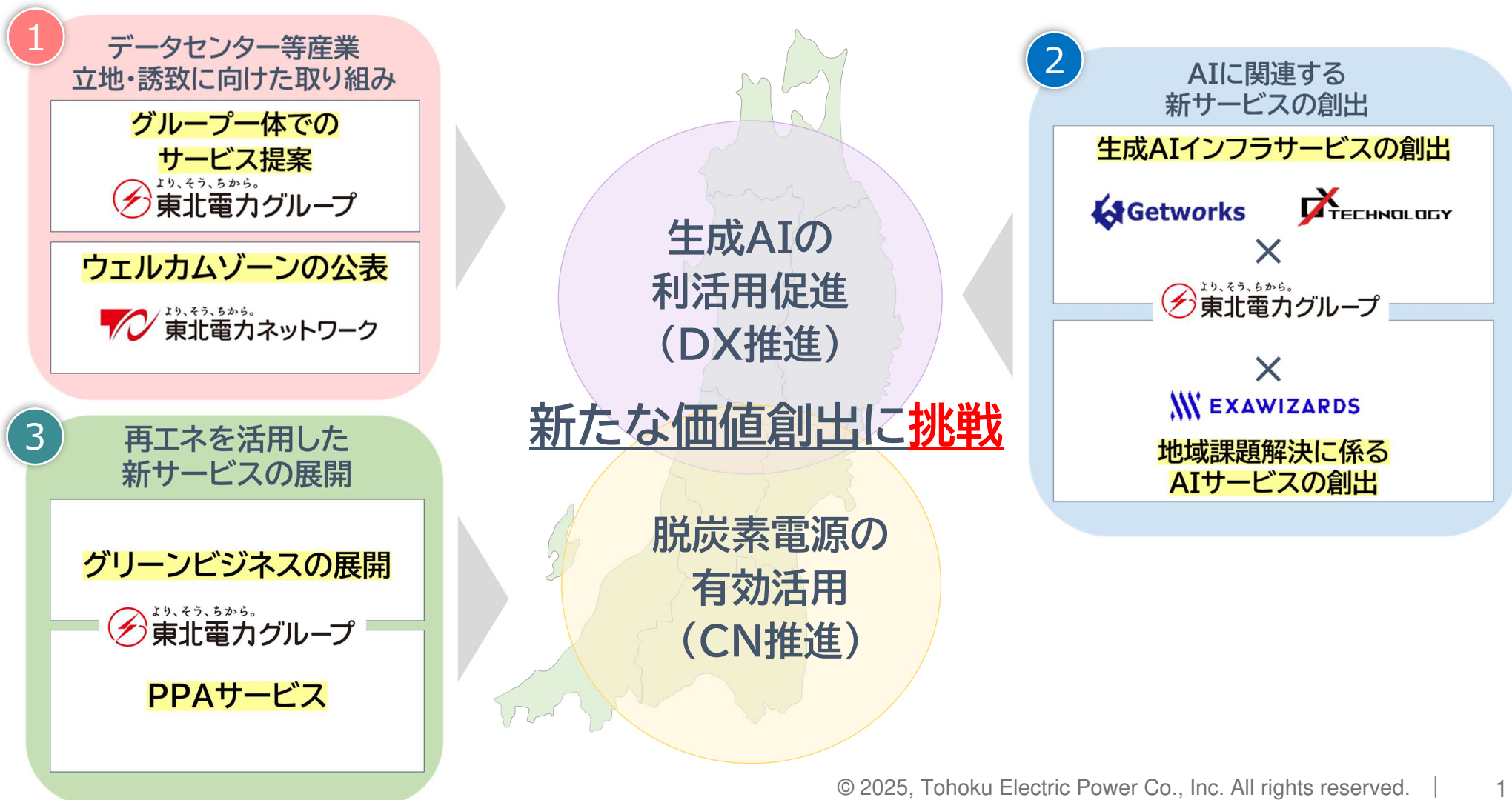
東北電力グループにおける 新たな価値の創出に向けた「挑戦」 ～東北6県・新潟県のDX・CN推進へ貢献～

2025年 3月 27日



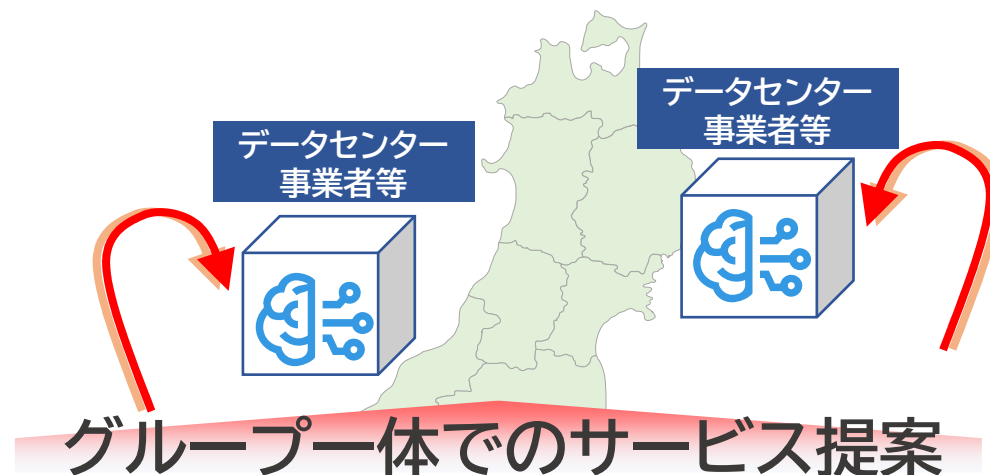
DXとCNを切り口とした新たな価値創出への挑戦

- デジタルトランスフォーメーション(DX)の進展や、カーボンニュートラル(CN)の潮流加速などを背景に、お客さまや地域のニーズが多様化してきています。
- 東北電力グループでは、再生可能エネルギーのポテンシャルが高い東北6県・新潟県の特性や、グループの強みを生かした新たな挑戦を通じ、東北6県・新潟県のDX、CNの推進に貢献することで、地域とともに持続的な発展を目指しています。



1 グループ一体でのサービス提案

- 今後、国を挙げて、脱炭素電源近傍への産業立地・誘致を目指す方針が示されていることから、当社としても、再生可能エネルギーの豊富な東北6県・新潟県へのデータセンター等の誘致に取り組んでいきます。
- このため、発電所の跡地などの活用も視野に入れつつ、脱炭素電気の供給やエネルギーマネジメント等、当社グループの保有するノウハウ・サービスを一体的に提案していきます。



(参考1)東北電力ネットワークによるウェルカムゾーンの公表

- 東北電力ネットワークでは、データセンターなどの電力多消費型の施設への供給に対し、比較的早期に対応が可能な候補地点(エリア)を「ウェルカムゾーン」として公開※しています。

※2025年3月27日現在:計35地点

「ウェルカムゾーン」の公開

10万キロワット程度または30万キロワット程度の供給へ比較的早期（3～5年程度）に対応できる候補地点

(東北電力ネットワークのホームページにおいて公表)

https://nw.tohoku-epco.co.jp/danchi/pdf/energy_resource.pdf

『ウェルカムゾーン（大規模需要への供給候補地点）に関するご案内』の画面展開イメージ



2 -1 生成AIインフラサービスの創出(ハード面の取り組み)

- 生成AIに必要なGPU需要の急拡大をハード面から支援するため「生成AIインフラサービス」の創出に取り組んでいます。
- 2025年2月より、生成AIサービスの開発企業や教育・研究機関などへ、クラウド環境を用いて、インターネット経由で高性能なGPUをご提供する「GPUクラウドサービス」を展開しています。
- 今後、2025年度中を目途に、お客さまの多様なニーズに対応し「GPUクラウドサービス」のラインアップを拡充するほか、お客さまのGPUを当社が提供するコンテナ型データセンターへ設置する「ハウジングサービス」を開始する予定です。

2025年2月に提供開始

GPUクラウドサービス※

※サービスラインアップを拡充予定

お客さま



東北電力が所有する
高性能GPUを提供

クラウドでご提供

コンテナ型データセンター

高性能GPU
(高度な計算力)



「NVIDIA HGX H200」

2025年度中に提供予定

ハウジングサービス

お客さま



GPUの設置場所を
東北電力が提供

GPU

お客さまが設置

コンテナ型データセンター

(設置場所A)

(設置場所B)

2 -2 地域課題解決に係るAIサービスの創出(ソフト面の取り組み)

- AIを活用したい企業等に向けたソフト面の取り組みとして、当社グループ内のAI活用で得られた知見等も踏まえ、エクサウィザーズ社と連携し、生成AIを活用したサービスの創出に向けた検討を進めています。
- 2025年4月を目途に、人手不足などの課題が顕在化している法人のお客さまを対象に「法人向け生成AIサービス」と「業務特化AIソリューション開発」の2つのサービスを開始します。

2社の強みを生かした新サービスの検討



- ・当社グループにおけるAI活用で得られた知見
- ・顧客基盤 其他事業アセット



- ・AI領域やデジタルの技術力、事業開発力
- ・DX人材育成ノウハウ

法人向け生成AIサービス※

AIを利活用したサービス等により課題解決をご支援

業務特化AIソリューション開発※

東北6県および新潟の企業や団体が抱える課題(例)

人口減少による
人手不足

脱炭素化
(CN)

デジタル化
(DX)

...etc

※2025年4月頃に提供開始予定

【当社グループにおけるAI等の活用事例】

火力発電所（東北電力）



労働災害の防止

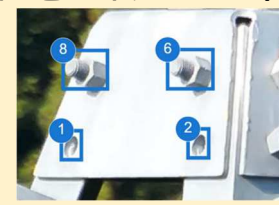


設備点検の自動化

送配電設備（東北電力ネットワーク）

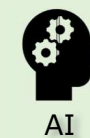


鉄塔塗装の点検



送電鉄塔の
ボルト・ナット異常検出

東北電力グループ共通



- 内容要約
- プレゼン資料自動変換
- 議事録自動作成

アイデア検討や業務効率化

3 グリーンビジネスの展開

- 再エネを最大限活用した新たな電気の価値をお客さまにお届けする「グリーンビジネス」に取り組んでいます。
- お客さまの多様化するカーボンニュートラルニーズにお応えするため「再エネ発電事業」で再エネ開発を推進するとともに「次世代エネルギーサービス事業」や「グリーンエネルギーサービス事業」において、再エネを活用した各種サービスを提供していきます。

グリーンビジネス

再エネを最大限活用した新たな電気の価値をお客さまにお届け



再エネ発電事業

- ・ 地域との共生も意識した新規電源開発
- ・ 経年設備の更新等による発電電力量の維持・拡大
- ・ 風力メンテナンス事業等



秋田港・能代港洋上風力発電所
(提供:秋田洋上風力発電株式会社)



次世代エネルギーサービス事業

- ・ 分散型エネルギー(蓄電池等)を集約し、市場取引などで獲得した収益の一部をお客さまに還元(VPP)
- ・ 発電量予測や需給調整などのサービスを提供(再エネアグリゲーションサービス)



弥藤吾蓄電所
(提供:坂東蓄電所1号合同会社)



グリーンエネルギーサービス事業

- ・ 再エネ電気を販売するコーポレートPPA(フィジカル・バーチャル)や需給運用代行、蓄電池導入支援等を組み合わせる最適なサービスをご提案
- ・ 家庭向けにも太陽光・蓄電池サービスをご提案



グリーンエネルギーソリューション



(参考2)コーポレートPPAサービスの提供実績

- 2020年のサービス開始以降、100件を超えるお客さまに「コーポレートPPAサービス」をご利用いただいています。
- 今後も、お客さまと地域のCO2削減に向け、ご提案を進めていきます。

お客さまへの導入実績

オンサイトPPA



(提供元：仙台空港再エネ発電合同会社)

事例： 仙台空港のカーポート型太陽光発電所

- ✓ 東北地方“最大級”(1.8MW)の再エネ導入モデル空港
- ✓ お客さまの消費電力のうち、23%程度を再エネ化
- ✓ 約 875 t-CO2/年※の排出量削減に貢献

オフサイトPPA



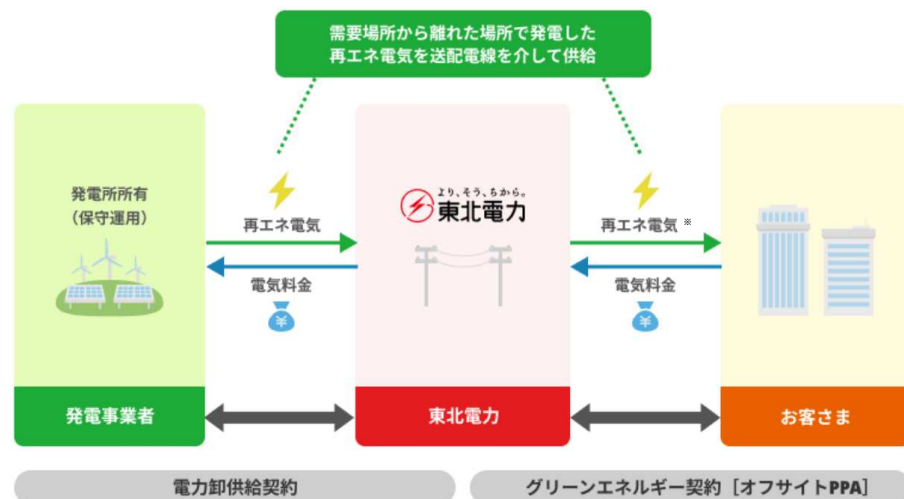
(提供元：JR東日本東北本部)

事例： JR東日本東北本部への導入

- ✓ 東北エリア初となる卒FIT風力発電所を活用したPPAサービス
- ✓ 再エネメニューとの併用で再エネ100%となり、約 2,100 t-CO2/年※のCO2排出削減を実現

※導入時点でのCO2排出係数の計算による

【コーポレートPPAサービスの概要】



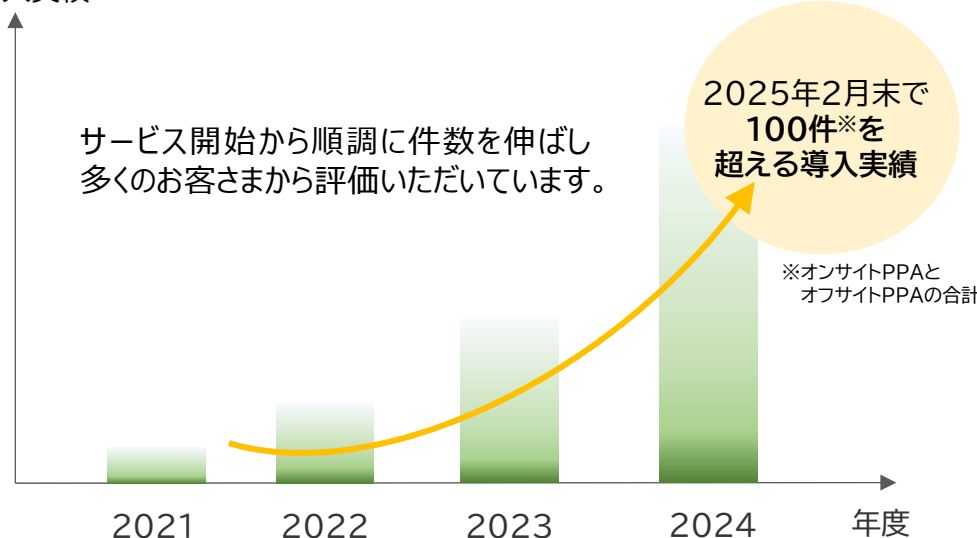
【コーポレートPPAサービスの導入実績】

導入実績

サービス開始から順調に件数を伸ばし
多くのお客さまから評価いただいています。

2025年2月末で
100件※を
超える導入実績

※オンサイトPPAと
オフサイトPPAの合計



※ オフサイトPPAによる再エネ電気で賄えない分の電力については、通常電力と非化石証書をセットにしたグリーン電力の提供も可能です。